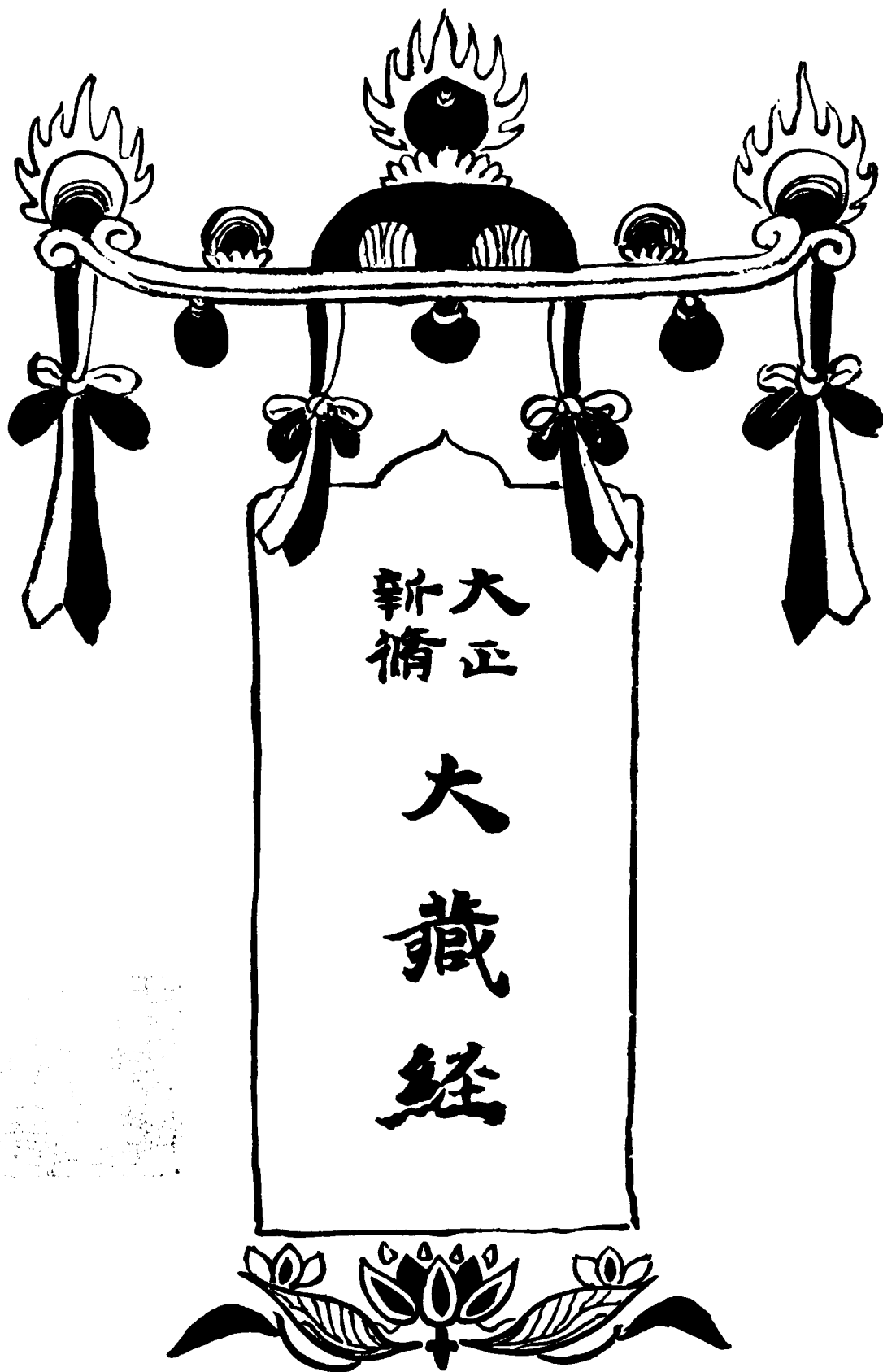




目次

一七二八 妙法蓮華經文句 (二十卷) [cf. Nos. 262, 1719] 隋 智 顗 說

(一) 釋序品 (一上—三上)	一	(五) 釋從地踊出品 (九上)	一二四
(二) 釋方便品 (三上—五上)	三六	(六) 釋壽量品 (九下—十上)	一二七
(三) 釋譬喻品 (五上—六上)	六三	(七) 釋分別功德品 (十上)	一三六
(四) [釋信解品] (六下)	八二	(八) 釋隨喜功德品 (十上)	一三八
(五) 釋藥草喻品 (七上)	九〇	(九) 釋法師功德品 (十上)	一三九
(六) 釋授記品 (七上)	九七	(一〇) 釋常不輕菩薩品 (十上)	一四〇
(七) 釋化城喻品 (七下)	九八	(一一) 釋如來神力品 (十下)	一四一
(八) 釋五百弟子受記品 (七下—八上)	一〇四	(一二) 釋囑累品 (十下)	一四二
(九) 釋授學無學人記品 (八上)	一〇七	(一三) 釋藥王菩薩本事品 (十下)	一四三
(一〇) 釋法師品 (八上)	一〇七	(一四) 釋妙音菩薩品 (十下)	一四四
(一一) 釋見寶塔品 (八下)	一一三	(一五) 釋觀世音菩薩普門品 (十下)	一四四
(一二) 釋提婆達多品 (八下)	一二四	(一六) 釋陀羅尼品 (十下)	一四六
(一三) 釋持品 (八下)	一二七	(一七) 釋妙莊嚴王本事品 (十下)	一四七
(一四) 釋安樂行品 (八下—九上)	一二八	(一八) 釋普賢菩薩勸發品 (十下)	一四七

一七二九 法華文句記 (三十卷) [cf. Nos. 262, 1718] 唐 湛 然 述

(一) 釋序品 (一上—三中)	一五一	(六) 釋授記品 (八之二)	二九五
(二) 釋方便品 (三下—五下)	二〇九	(七) 釋化城喻品 (八之一)	二九六
(三) 釋譬喻品 (五下—六下)	二一五	(八) 釋五百弟子受記品 (八之二)	三〇一
(四) 釋信解品 (七上—七中)	二七四	(九) 釋受學無學人記品 (八之三)	三〇六
(五) 釋藥草喻品 (七下)	二八七	(一〇) 釋法師品 (八之三)	三〇四

Wt149/09

(一) 釋見寶塔品(八之四).....	三〇九
(二) 釋提婆達多品(八之四).....	三一一
(三) 釋持品(八之四).....	三〇四
(四) 釋安樂行品(九上).....	三二六
(五) 釋踊出品(九中).....	三三三
(六) 釋壽量品(九中—十上).....	三三七
(七) 釋分別功德品(十上).....	三四〇
(八) 釋隨喜功德品(十中).....	三四四
(九) 釋法師功德品(十中).....	三四六

(一〇) 釋常不輕菩薩品(十下).....	三四七
(一一) 釋如來神力品(十下).....	三四九
(一二) 釋囑累品(十下).....	三五〇
(一三) 釋藥王品(十下).....	三五四
(一四) 釋妙音菩薩品(十下).....	三五五
(一五) 釋普門品(十下).....	三五六
(一六) 釋陀羅尼品(十下).....	三五八
(一七) 釋嚴王品(十下).....	三五八
(一八) 釋普賢品(十下).....	三五九

一七二〇 法華玄論(十卷) [cf. No. 262] 隋 吉 藏 撰 三六一

一七二一 法華義疏(十二卷) [cf. No. 262] 隋 吉 藏 撰 四五一

(一) 序品(一).....	四五一
(二) 方便品(三—四).....	四八二
(三) 譬喻品(五—六).....	五一二
(四) 信解品(七).....	五四二
(五) 藥草喻品(八).....	五五八
(六) 授記品(九).....	五六五
(七) 化城喻品(十).....	五六八
(八) 五百弟子授記品(九).....	五七八
(九) 授學無學人記品(九).....	五八二
(一〇) 法師品(九).....	五八三
(一一) 見寶塔品(九).....	五八七
(一二) 提婆達多品(九).....	五九二
(一三) 持品(九).....	五九二
(一四) 安樂行品(一〇).....	五九三

(一五) 從地涌出品(一〇).....	五九九
(一六) 壽量品(一〇).....	六〇二
(一七) 分別功德品(一〇).....	六二〇
(一八) 隨喜功德品(一一).....	六二二
(一九) 法師功德品(一一).....	六二四
(二〇) 常不輕菩薩品(一一).....	六二六
(二一) 如來神力品(一二).....	六二八
(二二) 囑累品(一二).....	六二九
(二三) 藥王菩薩本事品(一二).....	六二九
(二四) 妙音菩薩品(一二).....	六三一
(二五) 觀世音菩薩普門品(一二).....	六三三
(二六) 陀羅尼品(一二).....	六三九
(二七) 妙莊嚴王本事品(一二).....	六三〇
(二八) 普賢菩薩勸發品(一二).....	六三一

一七二三 法華遊意(一卷) [cf. No. 262] 隋 吉 藏 造 六三三

一七二三 妙法蓮華經玄贊(二十卷) [cf. Nos. 262, 1724] 唐 窺 基 撰 六五一

(一) 序 品(一本—二末)	六五一	(五) 從地涌出品(九末)	八二五
(二) 方便 品(三本—四末)	六九四	(六) 壽 量 品(九末)	八二八
(三) 譬 喻 品(五本—六末)	七三四	(七) 分別功德品(九末)	八三〇
(四) 信 解 品(六末—七末)	七七〇	(八) 隨喜功德品(十本)	八三六
(五) 藥草喻品(七本)	七八一	(九) 法師功德品(十本)	八三七
(六) 授 記 品(七本)	七八六	(一〇) 常不輕菩薩品(十本)	八三九
(七) 化城喻品(七末—八末)	七八九	(一一) 如來神力品(十本)	八四一
(八) 五百弟子受記品(八本)	八〇一	(一二) 囑 累 品(十本)	八四二
(九) 授學無學人記品(八本)	八〇五	(一三) 藥王菩薩本事品(十本)	八四三
(一〇) 法 師 品(八末)	八〇六	(一四) 妙音菩薩品(十末)	八四五
(一一) 見寶塔品(八末)	八一	(一五) 觀世音普門品(十末)	八四六
(一二) 提婆達多品(九本)	八五	(一六) 陀羅尼品(十末)	八五〇
(一三) 持 品(九本)	八七	(一七) 妙莊嚴王本事品(十末)	八五〇
(一四) 安樂行品(九本)	八八	(一八) 普賢菩薩勸發品(十末)	八五二

一七二四 法華玄贊義決(一卷) [cf. Nos. 262, 1723] 唐 慧 沼 撰 八五四

一七二五 法華宗要(一卷) [cf. No. 262] 新羅 元 曉 撰 八七〇

一七二六 觀音玄義(二卷) [cf. Nos. 262(25), 1727] 隋 智顗說·灌頂記 八七七

一七二七 觀音玄義記(四卷) [cf. Nos. 262(25), 1726] 宋 知 禮 述 八九二

一七二八 觀音義疏(二卷) [cf. Nos. 262(25), 1729] 隋 智顗說·灌頂記 九二一

一七二九 觀音義疏記(四卷) [cf. Nos. 262(25), 1728] 宋 知 禮 述 九三六

一七三〇 金剛三昧經論(三卷) [cf. No. 273] 新羅 元 曉 述 九六一

天台法華疏序

鏡中沙門神述

叙曰。至理無名。名流四天之下。真乘不動。動出三界之中。證教即事而凝然。悉檀隨緣而化物。無謀汲引。功莫大哉。妙法蓮華經者。泊仁雄出世。爲一大事因緣之所說之也。但藥木不同。受潤成異。機宜匪一。稟教亦差。其施權也。則鹿苑四諦之法輪。其顯實也。則鷲峯三變之淨土。旨深詞實。人尊道高。彰壽量之遠本。會伽耶之近迹。雨吹擊演。廢昔說之筌蹄。開示悟入。獲今家之魚兔。微塵菩薩。增道損生。草庵聲聞。恥小欣大。藥王燒臂而供養。多寶全身以證明。圓極冲微。不可得而言也。有天台大師。法號智顗。昔於如來前。親聽妙典。位居五品。聲振兩朝。不歷講肆。佛乘懸解。陀羅尼力樂說不窮。常於陳主大極殿。對御講仁王般若經。萬乘屈膝。百官彈指。且如觀心釋。妙難有無。取真性作軌。藉資照成徹。叙名詮宗異於古德。五義駁理。皆扶聖教。自智者弘法三十餘年。獨有維摩疏。隋朝奉揚帝勅。撰此之玄文。迺是灌頂法師私記合二十卷。非智不彈。斯言允矣。及其滅後一百餘載。至唐天寶中歲在戊子。有東陽郡清泰寺朗和尚。法門之眉壽。涼池之目足。乘戒俱急。內外兼包。獲滿慈之寶器。坐空生之石室。必於講授之次。默然歎曰。觀其義趣。深契佛乘。尋其文勢。時有不次。或文續義斷。

或文後義前。或長行前開其章。或從後直述其義。或偈中先舉其數。或後不次其名。然聖意難測。但仰信而已。今因諸聽徒頻勸請曰。上根易悟。探頤不迷。中下之流。尋文失旨。儻更垂次。此則弘益巨多。和上再三籌量。事不獲已。乃專念大師。求加可否。因夢所感。方始條倫。蓋亦隨情便宜。誠諒。非苟求同異。輒有增減於其間矣。冀後諸學者。曉其元意。尋領索蒙。擔金棄藥。說真實法。非虛妄人。助玄風之廣扇。備丹丘之添削。則百界千如。宛同府契。化城寶所。盡親津橋。賴彌勒之殷勤。迴文殊之靳固。輔發智之六足。褒春秋之一言。神迥等並探綜文前。輕安諦理。莫不空王佛所。同共發心。十六沙彌。咸皆代講。翳花逢日。除瘴養珠。誠愧雁門之筆。易窺龍嘖之奧。庶探玄之士。沐道流而有本焉。

妙法蓮華經文句卷第一。上

天台智者大師說

序品第一。佛出。世維佛說。是難。傳。此。難。自開悟。餘。受。六十九。於。丹丘。添。削。留。後。實。共。期。佛。之。意。委釋。經題。已如。上說。序者訓。序。謂階位。賓主問答。悉序。也。經家從義。謂次由述也。如是等五事。冠於經首。次序也。放光六瑞。起發之端。由序也。問答釋疑。正說。弄引。敘述也。具此三義。故稱爲序。品者中阿含云。毘渠。此翻爲品。品者義類同者。聚在一段。故名品也。或佛自唱品如梵網。或結集所置。

如大論。或譯人添足如羅什。今藥王本事是佛唱。妙音觀音等是經家。譯人未聞。諸品之始。故言第一。佛赴緣作。散花貫花兩說。結集者按說傳之。論者依經申之。皆不節目。古講師但敷弘義理。不分章段。若純用此意。後生殆不識起盡。又佛說實散集者隨義立品。增一云。契經一分。律一分。阿毘曇一分。契經更開四。謂增一長中雜。增一阿含明。人天因果。長阿含破邪見。中阿含明深義。雜阿含明禪定。律開五部及八十誦。阿毘曇開六足八捷度等。阿含謂施戒慧六度皆足也。謂根性道定等八種聚也。天親作論以七功德分序品。五示現分方便品。其餘品各有處分。昔河西遷江東瑤。取此意節目經文。末代尤煩光宅轉細。重雲翳於太清。三光爲之戢耀。問津者所不貴。雲鸞云。細科煙颺難。難。蓋若過若不及也。廬山龍師。分文爲序正流通。二十七品統唯兩種。從序至法師。言方便言真實。理一說三。故寶塔下。身方便身真實。實遠唱近。故又從方便至安樂行。是因門從踊出。下是果門。齊中興印。小山瑤。從龍受經。分文同。玄暢從序至多寶爲因分。從勸持至神力爲果分。從囑累盡經爲護持分。又有師云。從序至學無學人記。是法華體。從法師至囑累。明受持功德。從藥王盡經。美諸菩薩本願。有師作四段。初品爲序段。從方便至安樂行。開三顯一段。從踊出訖分別功德。開近顯遠段。後去餘勢流通段。光宅

◎此序文依法隆寺本載 ◎增上寺報恩藏明本 ◎萬壽五年廣治元年寫法隆寺藏本 妙法蓮華經二法華 ◎〔上〕一 ◎〔天台智者大師說〕一 ◎〔序品第一〕一 ◎〔丹丘〕 ◎〔歷十也〕 ◎〔弄二壽風〕 ◎〔自〕十 ◎〔各十〕 ◎〔計十品〕

雲從印受經。初三段次各開。一。謂通序別序。正謂因門果門。流通謂化他自行。二序各五。二正各四。二流通各三。合二十四段云。夫分節經文。悉是入情。蘭菊各擅其美。後生不應是非。競無三益。喪一道。三益者。世界等三悉檀也。一道者。第一義悉檀也。天台智者分文爲三。初品爲序。方便品訖。分別功德十九行偈。凡十五品半名正。從後盡經。凡十一品半名流通。又一時分爲二。從序至安樂行十四品。約述開權顯實。從踊出訖經十四品。約本開權顯實。本述各序正流通。初品爲序。方便訖。授學無學人記品爲正。法師訖。安樂行爲流通。踊出訖。彌勒已問斯事。佛今答之。半品名序。從佛告阿逸多下。訖分別功德品偈。名爲正。此後盡經爲流通。今記從前三段消文也。問一經云何二序。答華嚴處處集衆。阿含篇篇如是。大品前後付囑。皆不乖一部兩序。阿妨。今不安五義者。本門非次首故也。述門但單流通者。說法未竟也。有無之意云爾。今帖文爲四。一列數二。所以三引證四。示相列數者。一因緣二約教三本迹四觀心。始從如是終于而退。皆以四意消文。而今略書或三二一。貴在得意。不煩筆墨。二所以者。問若略則一。若廣匪四。所以云何。答廣則令智退。略則意不周。我今處中說。令義易明了。因緣亦名感應。衆生無機雖近不見。慈善根力遠而自通。感應道交故用因緣釋也。夫衆生求脫此機衆矣。聖人起應。應亦衆矣。此義更廣處中在何。然大經云。慈善根力有無量門。略則神通。若十方機感。曠若虛空。今論娑婆國土。音聲佛事。則甘露門開。依教釋者。中說明矣。若應機設教。教有權實淺深不同。須置指存。月亡迹尋本。故肇師云。非本無以垂迹。非迹無以顯本。故用本迹釋也。若尋迹迹廣徒自疲勞。若尋本本高不可極。日夜數他寶。自無半錢分。但觀己心之高廣。扣無窮之聖應。機成致感。速得己利。故用觀心釋也。三引證方便品云。十方諸佛爲一大事因緣。故出於世。若人天小乘非一非大。又非佛事不成就。成機感。實相名一廣博名大。佛指此爲事。出現於世。是名一大事因緣也。又云。以種種法門。宣示於佛道。當知種種聲教。若微若著。若權若實。皆爲佛道。而作筌蹄。大經云。龜言及軟語。皆歸第一義。此之謂也。壽量品云。今天人阿修羅。皆謂我少出家。釋氏宮去伽耶城不遠。得三菩提。然我實成佛已來。無量無邊阿僧祇劫。以斯方便。導利衆生。方便品又云。我本立誓願。普令一切衆。亦同得此道。如我等無異。又五百受記品云。內祕菩薩行。外現是聲聞。實自淨佛土。示衆有三毒。又現邪見相。我弟子如是。方便度衆生。此則師弟皆明。本迹云云。譬喻品云。若人信汝所說。卽爲見我。亦見於汝。及比丘僧并諸菩薩。當知隨有所聞。諦心觀察。於信心中得見三寶。聞說是法。實見我是佛寶。見汝等是僧寶云云。四示

相者。且約三段示因緣相。衆生久遠蒙佛善巧。令種種佛道因緣。中間相值。更以異方便。助顯第一義。而成熟之。今日雨花動地。以如來滅度而滅度之。復次久遠爲種。過去爲熟。近世爲脫。地。涌等是也。復次中間爲種。四味爲熟。王城爲脫。今之開示悟入者。也。復次今世爲種。次世爲熟。後世爲脫。未來得度者是也。雖未是本門。取意說耳。其間節節作三世九世。爲種爲熟爲脫。亦應無妨。何以故。如來自神通之力。師子奮迅大勢威猛之力。自在說也。以如是等故。有序分也。衆見希有。瑞顯願飲渴。欲聞具足道。佛乘機設化。開示悟入佛之知見。故有正說分也。非但當時獲大利益。後五百歲遠沾妙道。故有流通分也。又示教相者。此序非爲人天清淨作序。非爲二乘小道作序。不爲即空通三作序。不爲獨善薩法作序。乃爲正直捨方便。但說無上佛道作序耳。此正不指世間爲正。不指螢光析智爲正。不指燈炬體法智爲正。不指星月道種智爲正。乃指日光一切種智爲正。此流通非爲楊葉木牛馬。而作流通。非流通半字。非流通共字。非流通別字。純是流通圓滿修多羅滿字法也。次示本迹者。久遠行菩薩道時。宣揚先佛法華經。亦有三分上中下語。亦有本迹。但佛佛相望。是則無窮。別取最初成佛時所說法華三分上中下語。專名爲上。名之爲本。何以故。最初成佛初說法故。爲上爲本。

●阿二何● ●退二去● ●煩二策● ●釋二扶● ●(處)十中● ●微二帶● ●緊二號● ●滅度二度脫● ●涌二踊● ●也十(云云)夾註● ●(是)十也● ●乘二承● ●升二昇● *

○序有通別。從如是去至却坐一面通序也。從爾時世尊去至品別序也。通序通諸教。別序別一經。通序爲五或六或七云云。如是者。舉所聞之法體。我聞者。能持之人也。一時者。聞持和合非異時也。佛者。時從佛聞也。王城耆山聞持之所也。與大比丘者。是聞持之伴也。此皆因緣和合次第相生。又如是者。三世佛經初皆安如是。諸佛道同不與世譯。世界悉檀也。大論云。舉時方令人生信者。爲人悉檀也。又對破外道阿毘歌二字。不如不是。對治悉檀也。又如是者。信順之辭。

爲獨張。又一時接四箭，不令墮地。未敢稱捷。策鈍驢驅，跛鼈尚不得一。何況四耶云云。約本迹釋如是者。三世十方橫豎皆爾。過去遠遠，現在漫漫，未來永永，皆悉如是。何處是本何處是迹。且約釋尊最初成道。經初如是者是本也。中間作佛說經。今日所說經初如是者。皆迹也。又阿難所傳如是者迹也。佛所說如是者本也。又師弟通達如是。非始今日。亦非中間者本也。而中間而今日者迹也。觀心釋者。觀前悉檀教迹等諸如是義。悉是因緣生法。卽通觀也。因緣卽空卽假者。別觀也。二觀爲方便道。得入中道第一義。雙照二諦者。亦通亦別觀也。上來悉是中道者。非通非別觀也。下文云。若人信汝所說。卽得見我。亦見於汝及比丘僧并諸菩薩。卽觀行之明文也。信則論機。見則是應。卽因緣也。又信有淺深。見有權實。種種分別不同者。卽分別教。又信法華之文。則見實相之本。若見身子之化。則見龍陀之本。若見始成釋尊。亦見久成先佛。若見千二百比丘八萬菩薩者。亦見其本也。又聞經心信無疑。覺此信心明淨。卽是見佛。慧數分明是見身子。諸數分明是衆比丘。慈悲心淨是見諸菩薩。約心爲四帖釋轉明。若釋他經。但用三意。爲未發本顯迹故。當知今經三釋與他同。一釋與彼異。四番釋如是。竟云云。我聞者。或聞如是。蓋經本不同前後互舉耳。今例爲四釋。大論云。耳根不壞聲在可聞處。作心欲聞。衆緣和合故

一七一八 妙法蓮華經文句卷第一上

言我聞。問應言耳聞。那云我聞。答我是耳主。舉我攝衆緣。此世界釋也。阿難登。高稱我聞。大衆應悲號。適見如來。今稱我聞。無學飛騰說偈。佛話經明。文殊結集。先唱題次稱。如是我聞。時衆悲號此爲人釋也。阿難登高稱我聞。道衆疑阿難身與佛相似。短佛三指衆疑釋尊重出。或他方佛來。或阿難成佛。若唱我聞三疑即遣。此對治釋也。阿難學人。隨俗稱我聞。第一義中無我無聞。古來衆釋同是因緣一意耳。約教解釋者。釋論云。凡夫三種我。謂見慢名字。學人二種。無學一種。阿難是學人。無邪我能伏慢我。隨世名字稱我無咎。此用三藏意釋我也。十住毘婆沙云。四句稱我皆墮邪見。佛正法中無我誰聞。此用通教意也。大經云。阿難多聞士。知我無我而不二。雙分別我無我。此用別教意也。又阿難知我無我而不二。方便爲侍者。傳持如來無礙智慧。以自在音聲傳權傳實。有何不可。此用圓教釋我也。又正法念經。明三阿難。阿難陀此云歡喜持小乘藏。阿難跋陀此云歡喜賢受持難藏。阿難婆伽此云歡喜海持佛藏。阿含經有典藏阿難。持菩薩藏。蓋指一人具於四德。傳持四法門其義自顯云云。本述釋者。若未會入。可言阿難隨世名我。若發迹顯本。空王佛所同時發心。方便示爲傳法之人。何所不能。觀心釋者。觀因緣所生法。即空即假即中。即空者我無我也。即假者分別我也。即中者真妙我

也云云。釋聞者。阿難佛得道夜生。侍佛二十餘年。未侍佛時應是不聞。大論云。阿難集法時自云。佛初轉法輪。我爾時不見。如是展轉聞。當知不悉聞也。舊解云。阿難得佛覺三昧力自能聞。報恩經云。阿難求四願。所未聞經願佛重說。又云佛口密爲說也。胎經云。佛從金棺出金臂。重爲阿難現入胎之相。諸經皆聞況餘處說耶。此文云。阿難得記即憶本願持先佛法皆如今也。此因緣釋也。若約教者。歡喜阿難。面如淨滿月。眼若青蓮華。親承佛旨如仰完器。傳以化人如瀉異瓶。此傳聞開法也。歡喜賢住學地得空無相願。眼耳鼻舌諸根不漏。傳持聞不聞法也。典藏阿難多所含受。如大雲持雨。此傳持不聞聞法也。阿難海是多聞士。自然能解了是常與無常。若知如來常不說法。是名菩薩具足多聞。佛法大海水流入阿難心。此傳持不聞不聞法也。今經是海阿難。持不聞不聞之妙法也。本述解者。如上四聞皆迹引。而本地不可思議云云。觀心釋者。觀因緣法是觀聞聞。觀空是觀聞不聞。觀假是觀不聞聞。觀中是觀不聞不聞云云。一念觀者妙觀也云云。一時者。肇師云。法王啓運嘉會之時者。世界也。論云。迦羅是實時。示內弟子時。食時著衣者。爲人也。三摩耶是假時。破外道邪見者。對治也。若時與道合者。第一義也云云。若見諦已上無學已下。名下一時。若三人同入第一義。名中一時。若登地已上名上一時。若初

住已上。名上一時。今經是上上一時。此約教分別也。本述者。前諸一時迹也。久遠實得之一時本也。觀心釋者。觀心先空次假後中。次第觀心也。觀心即空即假即中者。圓妙觀心也。佛者。劫初無病劫盡多病。長壽時樂短壽時苦。東天下富而壽。西天下多珠寶多牛羊。北天下無我無臣屬。如此時處不感佛出。八萬歲時百年時。南天下未見果而修因。故佛出其地。離車子云。摩竭提國如大池。佛出其國。如大蓮華。無勝云。佛於衆生平等無二。汝等耽荒五欲。不見佛耳。非佛棄汝出摩竭提。此皆世界釋也。日若不出池中未生。生已等華翳死無疑。佛若出世則有利利婆羅門居士四天王乃至有頂。此就爲人釋也。三乘根性感佛出世餘不能感。善斷有頂種。永度生死流。此就對治說也。佛於法性無動無出。能令衆生感見動出。而於如來實無動出。此就第一義說也。皆因緣釋耳。佛名覺者知者。於道場樹下。知覺世間出世間總相別相。覺世即苦集。覺出世即道滅。亦能覺他。身長丈六壽八十老比丘像。菩提樹下三十四心正習俱盡者。即三藏佛自覺覺他。帶比丘像現尊特身。樹下一念相應。斷餘殘習者。即通佛自覺覺他。單現尊特相坐蓮花臺受佛職者。即別佛自覺覺他。隱前三相唯示不可思議如虛空相。即圓佛自覺覺他。故經云。或見如來丈六之身。或見小身大身。或見坐花臺爲百千釋迦說心地法門。或見身同虛空遍於法界。

●耳二身●●高十(座)●●指十(許)●●邪二耶●●難十(難)●●婆二婆●●能十(云云)夾註●●(能)十破●●(長)十壽●●(提)一●

無有分別即此義也。是爲約教分別也。本迹釋者。一佛爲本三佛爲迹。中間示現數數唱生數數唱滅皆是迹也。唯本地四佛皆是本也。觀心釋者。觀因緣所生心。先空次假後中皆偏覺也。觀心即空即假即中是圓覺也。云云。住者。能住住所住。所住即是忍土王城。能住即是四威儀。住世未滅此則世界因緣釋住也。又住者。住十善道住四禪中。此即爲人因緣釋住也。又住者。住三昧。對治因緣釋住。又住者。住首楞嚴。即是第一義因緣釋住。云云。約教者。三藏佛從初門發真無漏。住有餘無餘涅槃。通佛從體門發真。住有餘無餘涅槃。別佛從次第門入。住秘密藏。圓佛從不次第門入。住秘密藏。前三佛住能所皆能。後一佛住能所俱妙。今經則是圓佛住於妙住也。本迹解者。三藏佛。應涅槃。慈悲垂迹。生身住世。通佛誓願慈悲。扶餘習度衆生。作佛事。別圓佛皆慈悲。薰法性。惡衆生故垂應法界。當知四佛住。本佛住。以慈悲故住於忍土王城。威儀住世。是名迹住。觀解者。觀住於境。或住無常境即空即假即中等境。以無住法住於境中故名爲住。王舍城者。天竺稱羅閱祇伽羅。羅閱祇此云王舍。伽羅此云城。國名摩伽陀。此云不害。無刑殺法也。亦云摩竭提。此云天羅。天羅者王名也。以王名國。此王即馭足之父。昔久遠劫。此王主千小國。王巡山值於師子。衆人迸散。仍共王交。後月滿來殿上生。王知是己子。訛言我既無兒。此乃

天賜養爲太子。足上斑駁時人號爲駁足。後紹王位。喜啖肉。勅厨人無令肉少。一時遽闕乃取城西新死小兒爲膳。王言大美。勅之常辦此肉。厨人日捕一人舉國愁恐。千小國興兵廢王。置者闍山中。諸羅刹輔之爲鬼王。因與山神誓。誓取千王祭山。捕得九百九十九。唯少普明王。後時伺執得之。大啼哭恨生來實語而今乖信。駁足放之還國。作大施立太子。仍就死形悅心安。駁足問之。答得聞聖法。因令說之。廣讚慈心。毀些殺害。仍說四非常偈。云云。駁足聞法得空平等地。即初地也。千王各取一滯血三條髮。賽山神願。駁足與千王共立舍城。都五山中爲大國。各以千小國付子胤。千王更迭知大國事。又百姓在五山內。七遍作舍七度被燒。百姓議云。由我薄福致致煨燼。王有福利其舍不燒。自今已後皆排我屋爲王舍。由是免燒。故稱王舍城。又駁足共千王立舍於其地。故稱王舍。又駁足得道放赦千王。千王被赦於其地。故名地爲王赦。而經家借音爲屋舍字耳。因緣出大論及諸經。云云。約教者。像法決疑經云。一切大衆所見不同。或見娑羅林地悉是土砂草木石壁。或見七寶清淨莊嚴。或見此林是三世諸佛所遊行處。或見此林即是不可思議諸佛境界真實法體。例如此義四見不同。所住既然能住亦爾。此則約教分別也。本迹觀心在後說。耆闍崛山者。此翻靈鷲。亦云鷲頭。亦云狼跡。梁武云。

王鷲引。詩人所詠關雎是也。爾雅云似鷄。又解。山峯似鷲將。峯名山。又云。山南有鷲戶陀林。鷲食。戶竟棲其山。時人呼爲鷲山。又解。前佛今佛皆居此山。若佛滅後羅漢住。法滅支佛住。無支佛鬼神住。既是聖靈所居。總有三事。因呼爲靈鷲山有五精舍。轉婆羅跋。此云天主穴。薩多般那求訶。此云七葉穴。因陀世維求訶。此云蛇神山。薩婆怨魂直迦鉢婆羅。此云少獨力山。五是耆闍崛山。問劫火洞然天地廓清。云何前佛後佛同居此山。答後劫立本相還現。得神通人。知昔名以名今耳。例如先劫姓瞿曇將本姓以姓今也。約教釋山。例如城義說云。觀釋者。王即心王舍即五陰。心王造此舍。若析五陰舍空。空爲涅槃城。此觀既淺如見土木。若體五陰舍即空。空爲涅槃城。即通教也。若觀五陰舍。因滅是色獲得常色。受想行識亦復如是。此之四德常爲諸佛之所遊處。若觀五陰即法性法性無受想行識。一切衆生即是涅槃。不可復滅。畢竟空寂舍。如是涅槃。即是真如實體云云。觀心山者。若觀色陰。無知如山。識陰如靈三陰如鷲。觀此靈鷲無常即析觀也。觀此靈鷲即空。體觀也。觀靈鷲智性。了因智慧莊嚴也。鷲即聚集緣因。福德莊嚴也。山即法性正因不動。三法名秘密藏。自住其中。亦用度人。下文云。佛自住大乘。即別圓二觀云云。中者。佛好中道。升中天中。日降中國。中夜滅。皆表中道。今處山中。說中道也。釋

①(住)一 ②應十(入) ③住十(也) ④王十(頭) ⑤迷二迷 ⑥過二過 ⑦免二勉 ⑧六二日 ⑨詩二諸 ⑩詩一 ⑪尸二屍 ⑫食二噉 ⑬康二柄 ⑭跋二慈 ⑮跋一 ⑯想二助 ⑰主穴二聖衆 ⑱聖穴一 ⑲穴二衆 ⑳說十(也) ㉑體二觀 ㉒空十(即)

同聞衆爲三。初聲聞次菩薩後雜衆。諸經多爾。舊云有事有義。事者。逐形迹親疎。聲聞形出俗網迹近。如來。證經爲親故前列也。天人形乖服異迹非侍奉。證經爲疎故後列也。菩薩形不檢節迹無定處。既不。同俗復異於僧。處季孟之間。故居中仲也。有義者。聲聞欣涅槃。天人著生死各有所偏。菩薩不欣不著。居中求宗故在兩間。釋論意亦爾。此一解似兩釋。事解似因緣。義解似約教云云。本迹解者。聲聞內祕外現。何嘗保證涅槃。天人皆大薩埵。豈復耽染生死。皆是迹引二邊。而本常中道也。觀心釋者。從假入空觀。即偏破生死。從空入假觀。即偏破涅槃。中道正觀無復前後云云。列聲聞爲二。先比丘。次比丘尼。比丘又二。先列。多知識次列。少知識。舊呼爲大名聞小名聞。雖然無據。今依文判如此。就多知識衆爲六。一類二數三位四。歎五列名六結。一類者。皆是大比丘氣類也。譬群方貴賤各有班輩。今諸比丘皆衆所知。高譽大德也。釋論明與者。共義。舉七一解。共。謂一時一處一戒一心一見一道一解脫也。若歷教應各明七一。三藏一七一。通教二七一。別教無量七一。圓教一七一。若未發迹正是三藏通教中七一。直明兩意幾異。時處戒解脫是同。心見道三種則異。若至開三顯一。即得入圓教七一也。法華論四種聲聞。今開住果者爲兩。析法住果是三藏聲聞。體法住果是通教聲聞。開應化者爲兩。登地應化別教

聲聞。登住應化圓教聲聞。開佛道聲聞。亦爲兩。令他次第開佛道。是別教聲聞。令他不次第開佛道。即圓聲聞。聲聞義浩然云何以證涅槃者。判之云云。大者。釋論明大者。亦言多亦言勝。器量尊重爲天王等大人。所敬故言大。升出九十五種。道外故言勝。遍知內外經書故言多。又數至一萬二千故言多。今明有大道故有大用故有大知故言大。勝者。道勝用勝知勝故言勝。多者。道多用多知多故言多。道即性念處。大於一切智外道。用即共念處。勝神通外道。知即緣念處。多四韋陀外道也。約教釋。大多勝者。大人所敬等。是三藏中釋耳。大者。大力羅漢所敬也。多者。遍知生滅即無生滅法也。勝者。勝三藏四門也。此通教釋也。又大者。體法大力羅漢所敬也。多者。恒沙佛法皆知也。勝者。勝二乘人。此別教釋也。又大者。諸大菩薩所敬也。多者。法界不可量法悉知也。勝者。勝諸菩薩也。此圓教釋也。本迹者。此諸大德久爲諸佛之所咨嗟。本得勝幢三昧超諸外道。先已成就種智遍知。迹來輔佛行化。示作愛見中大多勝。欲引乳入酪。又作三藏中大多勝。欲引酪入生蘇。示方等中大多勝。欲引生蘇入熟蘇。示轉教作般若中大多勝。欲引熟蘇入醍醐。故作法華中大多勝也。然其本地大多勝又矣云云。觀心者。空觀爲大。假觀爲多。中觀爲勝。又直就中觀心性廣博。猶若虛空故名大。雙遮二邊入寂滅海故名勝。雙照二

諦多所含容。一心一切心故名多也。比丘者。肇師云。秦言淨命。乞食破煩惱能持戒怖魔等。天竺一名舍此四義。秦無以翻故存本稱。什師云。始出妻孥家。應以乞食自資清淨活命。終出三界家。必須破煩惱持戒自守。具此二義。天魔怖。其出境也。釋論云。怖魔破惡乞士。魔樂生死。其既出家復化餘人。俱離三界。垂於魔意。魔用力制翻被五繫。但愁懼而已。故名怖魔。出家人必破身口七惡故言破惡。夫在家三種如法。一田二商三仕。用養身命。出家人佛不許此。唯乞自濟身安道存福。利檀越三義相成。即比丘義也。涅槃寶梁皆舉破惡名比丘者。不具說也。今明此三義應通初後。如初出家時。白四羯磨。無作戒力遍一切境。翻無作惡。初修禪定。發定共戒。防伏意地貪瞋不起。初修觀慧。發相似道共戒。能伏煩惱。初心亦稱破惡。何獨後心耶。怖魔者。初剃髮棄戒已。令魔愁。修定欲伏煩惱。修慧欲破煩惱。初心亦令魔怖。何獨後心耶。乞士者。初離邪命。以乞自活。修禪歷境求定。修慧緣理求無漏。皆是乞士。何況相應而非乞士。具此義故通名比丘。依經家皆歎後心比丘耳。此皆三藏意。若歷緣求真名乞士。破障理之惑名破惡。修此行怖四魔。即通教義。若歷三諦求理名乞士。除通別惡名破惡。怖八魔十魔者。即別義。若即生死求實相味名乞士。達煩惱即菩提名破惡。魔界即佛界者。是圓教義。若未

①逐二途②檢二驗③次十(尼)④歎十(德)⑤論十(明)⑥道外二外道⑦其二甚⑧七十(支)⑨歷二魔⑩惱煩二煩惱⑪故十(故)

發述但明前二義若已顯本具後意也。本述者本登涅槃山頂與無明癡愛父母結業妻子別出分段變易家久除五住何惡不被獲真法喜如食乳糜更無所須持中道道共尸波羅蜜攝衆生戒度魔界降伏即佛界如堪任乘御本地功德久已成就爲調衆生述示五味比丘傳引衆生例如前釋觀心者觀一念心淨若虛空不爲二邊桎梏所礙平等大慧無住無著即名出家以中觀自資活法身慧命名爲乞士觀五住煩惱即是菩提是名破惡一切諸邊顛倒無非中道即是怖魔云云衆者天竺云僧伽此翻和合衆一人不名和合四人已上乃名和合事和無別衆法和無別理佛常與千二百五十人俱三迦葉千人身子目連二百五十又云耶舍五十難阿含四十五云五百比丘中九十人三明九十人俱解脫餘但慧解脫釋論明四種僧不依淨命名破戒僧不解法律名愚癡僧五方便名慚愧僧苦法忍去名眞實僧此中非三種但是眞實僧若依四教者此僧歷偏圓五味座作同聞人今正是圓教中證信也本述釋者本與實相理和又與法界衆生機緣和而述爲半字事理之僧歷五味中引諸衆生云云觀解者初學中觀入相似觀既未發眞慚第一義天愧諸聖人即是有羞僧觀慧若發即眞實僧若異此者即前兩僧不依觀行名破戒僧不解觀相名愚癡僧學類義竟二明數者即是一萬二千人也本述者

本是一萬二千菩薩述爲萬二千聲聞也觀者觀十二入一入具十法界一界又十界界界各十如是即是一千一入既一千十二入即是萬二千法門也三明位者皆是阿羅漢也阿羅經云應眞瑞應云眞人悉是無生釋羅漢也依舊翻云無著不生應供或言無翻名含三義無明糠脫後世田中不受生死果報故云不生九十八使煩惱盡故名殺賊具智斷功德堪爲入天福田故言應供含此三義釋阿羅漢也或言初始學無生未無生初雖怖魔魔未大怖初雖乞士未是灼然應供今獲無生忍破煩惱賊盡是好良田以果對因釋羅漢三義若論成就應取果三義若通於初亦取因三義如此釋者皆三藏通中意耳若別圓者義則不然非但殺賊亦殺不賊不賊者涅槃是亦須破故是殺賊義不生于生亦不生不生無漏是不生非但應供亦是供應一切衆生是供應皆歎初地初住德也本述者本得不受三昧於二邊無所著故名不生斷五住惑故名殺賊能福九道饒益衆生故有應供本義也方便度衆生歷五味傳傳作不生述也又本是法身述示已利本是般若述示不生本是解脫述示殺賊云云觀心者空觀是般若假觀是解脫中觀是法身又觀心者從假入空觀亦有三義乃至中道觀殺無明賊不生二乘心供養此人如供養世尊方等云供佛及文殊不如施行方等者一食充軀下文云毀讚佛罪

福輕毀讚持經者罪福重何者佛無食想久離八風不爲損益施持經者全肉身續報命生法身增慧命故有益毀之憂惱退悔若失好時則不可救故大損云云四歎德文有五句歎上三德法華論云初句總後句別當知諸句皆歎羅漢句耳諸漏已盡無復煩惱此兩句歎上殺賊漏者三漏也成論云失道故名漏律云癡人造業開諸漏門毘曇云漏落生死論律語異而同明漏義良由賊誑失於理實貧窮孤露造諸惡業致生死苦亡法身失慧命喪重寶皆是賊義不應謂是不生義歎德也煩惱者即九十八使流扼纏蓋等逼惱行人煩惱是能潤漏業是所潤能所既盡正是殺賊義那得作不生歎耶逮得已利一句是歎應供三界因果皆名爲他智斷功德皆名已利已利具足故成應供盡諸有結心得自在兩句是歎不生諸有即二十五有生處也結即二十五有生因也因盡果亡歎不生明矣不應作殺賊歎也羅漢但應結盡未應有盡有盡者因中說果又盡在不久也心得自在者定具足名心自在慧具足名慧自在慧自在未必心自在心自在必慧自在今言心自在即是定慧具足俱解脫人俱解脫人生決定盡驗知歎不生德也若依法華論者呼爲上上起門則是以後釋前也論云以諸漏盡故名羅漢以心得自在故名有結盡如是傳傳釋上也本述者不生不生名大涅槃煩惱漏流其源久竭

●須二乞● ●魔十(也)● ●舉二氣● ●云二言● ●(一)十不● ●衆十(故)● ●盡十(言)●

不復墮落二乘及凡夫地。即本不生。法身智斷實相功德。本已利。得王三昧。破二十五有。顯出我性。具八自在。我名本殺賊。述示二乘功德耳。觀心者。中道正觀不漏。落空假二邊。二邊煩惱滅也。能觀心性名為上定。衣珠祕藏是己之物。即已利也。正觀中道結。賊則斷。無結故有亦斷。二邊不能縛心。故名自在。雖有煩惱如無煩惱。不斷煩惱而入涅槃。即其義也。五列名。略舉二一尊者。佛諸弟子皆備衆行。而隱其圓能。各從一德標名者。欲引偏好故。增一阿含云。憍陳如比丘。皆共上座名者。有德大人相隨。舍利弗共智慧深利者相隨。目連共神通大力者相隨。皆掌一法引諸偏好。意也。若欲消名須識其行。從德立號。無往不通也。一一羅漢例作四釋云。憍陳如姓也。此翻火器。婆羅門種。其先事火。從此命族。火有二義。照也。燒也。照則闇不生。燒則物不生。此以不生為姓。阿若者名也。此翻已知。或言無知。無知者非無所知也。乃是知無耳。若依二諦。即是知真。以無生智為名也。無量壽文殊問。阿毘曇婆沙。皆稱為了本際知本際。若依四諦。即是知滅。而諸經多名為無知。或翻為得道。增一阿含云。我佛法中寬仁博識。初受法味者。拘隣如比丘第一。故以阿若為名也。願者。佛昔於饑世化為赤目大魚。閉氣不喘。示為死相。木工五人先斫魚肉。佛時誓言。於當來世先度此等。先願與其無生故云。阿若。又迦

葉佛時。九人學道五人未得果。誓於釋迦法中。最先開悟。本願所牽。前得無生故。名阿若。行者。智生惑滅。智斷行也。夫日夜長寢。無人能覺。日光未出。明星前現。憍陳如比丘。初得無生智。譬若明星在衆明之始。一切人智明。無前陳如。故名阿若。最先破闇。莫過明星。陳如亦爾。一切人闇滅。無前陳如。故名阿若。前者。太子棄國捐王入山學道。父王思念遣五人追侍。所謂拘隣頹鞞。亦云濕鞞。亦阿。說示。亦馬星。跋提。亦摩訶男。十力迦葉。拘利太子。二是母親。三是父親。二人以欲為淨。三人以苦行為淨。太子勤行苦行。二人便捨之。去三人猶侍。太子捨苦行。還受飲食。蘇油煖水。三人又捨去。太子得道。先為五人說四諦。初教二人。拘隣法眼淨。四人未得。三人乞食。六人共噉。次教三人。三人法眼淨。二人乞食。六人共噉。第三說法時。拘隣五人。八萬諸天。遠塵離垢。五人得無生。佛三問知法未。即三答云。已如地神唱空神傳。乃至梵世。咸稱已知。拘隣最前。初見佛道相。初聞法鼓。初服道香。初嘗甘露。初入法流。初登眞諦。閻浮提得道。最在一切人。一切天。一切羅漢前。故十二遊經云。佛成道第一年度五人。第二年度三迦葉。第五年度身子目連。當知阿若在前明矣。此因緣釋也。三藏教者。盲譬無生智。鏡譬無生境。陰入界也。頭等六分譬現在因。也像譬未來果也。若開眼取鏡形對像生。愚故不斷絕。若閉眼如盲。則無所見不見。

六分是因不生。不見鏡像。是果不生。故阿含經云。若謂有。色色是淨。淨即生非不生。若謂有。受想行識識是淨。淨即生非不生。若謂有。受受是樂。樂即生非不生。乃至色色是樂。樂是生非不生。若計有。想行。行是我。我是生非不生。乃至色色是我。我是生非不生。若計有。識識是常。常是生非不生。乃至色色是常。常是生非不生。譬如執鏡。見。面。面是生非不生。若謂有。五陰。悉是生非不生。若能知。色非淨。淨乃至識非常。又能知。色無常。苦空不淨。乃至識無常。苦無我不淨者。是為不生。非是生。如盲執鏡。不見像生。是為不生。非是生。既知不生。寧復於中計我是色。計我異色。我在色中。色在我中。乃至識亦如是。如是觀者。現因來果。俱皆不生。如盲對鏡。不見形像。是名觀陰。無生觀智也。觀入界者。凡言海者。雖復深廣。亦有此彼岸。蓋小水耳。若眼見色。已愛念。染著貪樂。起身口意業者。是為大海。沈沒一切世間天人修羅當知。眼是大海。色是濤波。愛此色。故是洄洑。於中起不善覺。是惡魚龍。起妬害。是男羅刹。起染愛。是女鬼。起身口意是飲。鹹自沒。是為眼色。無知而生。無明愛。愛生故名。為行。行生故名。為業。業縛識入中陰。是為識生。所受胞胎五疱未成。是為名色生。五疱成。已名六入生。六入未。能別苦樂。名為觸生。別苦樂。名受生。於塵起染名愛生。四方馳求名取生。造身口意名有生。應受未來五陰名生生。未

①賊二惑 ②說二悅 ③跋二拔 ④淨十行 ⑤如二知 ⑥威二滅 ⑦染二深 ⑧愛二受 ⑨愛一 ⑩利十鬼 ⑪酬十水 ⑫於十眼

來陰變名。老生。未來陰壞名。死生。心中內熱。名。憂生。發聲大喚名。悲生。身心。顛倒名。苦惱生。是名眼見。色時。即有三世十二因緣。大苦聚生。非不生。耳鼻舌身。意。眼界。乃至法界。亦如是。是為入界生。非不生。云何不生。

觀眼色時。不種苦種。不生苦芽。不漏臭汁。不集。蛆蠅。若種不生。則芽不生。則臭汁不生。則蛆蠅不生。故名不生。云何苦種。眼見色時起。貪悲覺。是為苦種。念於五欲法。是生苦芽。六根取。六塵。是名臭汁。流出於六塵中。善惡競起。是名蛆蠅。若知眼色。無常苦空無我。則貪悲不生。念欲不生。取境不生。善惡行不生。是為不生。耳鼻舌身。意。亦如是。是眼界。乃至法界。亦如是。阿若最初得此三藏。不生智。故名阿若。憍陳如。通教無生觀。譬如幻人執幻鏡。以幻六分。臨幻鏡。觀幻像。像非鏡生。非面生。非鏡面合生。非離鏡面生。既不從四句生。則非內外中間。不常有。亦無滅處。去不至。東西南北方。性本無生。非滅生。無生。性本無滅。非滅無滅。無生無滅。故曰無生。受想行識。亦復如是。又觀幻色。如幻鏡像。觀受如泡。觀想如炎。觀行如芭蕉。觀識如幻。幻不從幻物生。不從幻師生。非物師合生。非離物師生。四句求。幻生。生無從來。四方求。幻滅。滅無去處。性本無生。非滅生。無生。性本無滅。非滅無滅。無生無滅。故曰無生。觀根塵村落結賊所止。從本已來。一不實。妄想故起。業力機關。假為空。

妙法蓮華經文句卷第一下

天台智者大師說

◎別觀無生智者。鏡譬法界。眼譬觀智。青黃赤白。小大長短。譬十法界。青譬地獄因果。黃譬餓鬼因果。赤譬畜生因果。白譬人天因果。小色像譬一乘因果。大色像譬通菩薩因果。短色像譬別菩薩因果。長色像譬佛因果。皆於鏡中。分別無謬。若欲自正。令九因果不生。一因果生。若欲正他。令他九因果不生。一因果生。依於法界行。菩提行。次第用析體觀智。斷四住生。令不生。次用恒沙佛法。斷客塵煩惱。令無知不生。後用實相智慧。斷無明。令根本不生。若無四住。則分段不生。若無無知。則方便不生。若無無明。則實報不生。生亦不生。不生亦不生。故名不生。是名別教無生智也。約圓教觀無生智者。觀鏡圓圓。不觀背面。不觀形像。非背非開。非面非明。不取種種形容。不取種種榮像。但觀圓圓。無際畔。無始終。無明闇。無一異差別者。譬於圓觀。不取十法界相貌。無善惡。無邪正。無小大等。一切皆泯。但緣諸法實相。法性佛法。若色若香。無非實相。觀煩惱業生。即無生。無生不生。故曰無生。陰入界苦。即是法身。非顯現故名。為法身。障即法身。貪恚癡即般若。非能明故名。為般若。無所可照。性自明了。業行繫縛。皆名解脫。非斷縛得脫。亦無體可繫。亦無能繫。故稱解脫。解脫即業不生。般若即煩惱不生。法身即苦不生。是三不生。即一不生。是一不生。即三不生。非三非一。故言不生。況變易煩惱業苦。而非不生。此即圓無生觀智云云。本迹者。是憍陳如。本自不生。非始不生。欲引乳為酪。故迹為初教不生。引酪為生蘇。故迹為通不生。引生為熟。故迹為別不生。引熟為醍醐。故迹為圓不生。而其本地住阿字門。謂一切法初不生。故若聞阿字門。則解一切義。皆非生非不生。垂迹引化。能為生不生。衆生若能會圓不生。則同阿若。非本非迹。非生非不生。◎大事因緣於茲畢矣。故下文云。富樓那。種種變化事。我若具足說。衆生聞是者。心則懷疑惑。即其義也。阿含云。阿難持傘蓋燈。隨佛後。大梵王持傘蓋燈。隨陳如後。斯皆示迹而欲顯本也。觀心不生者。約三觀。不生可知。不煩更說。摩訶迦葉。此翻大龜氏。其先代學道。靈龜負仙圖。而應從德命。族故言龜氏。真諦三藏翻光波。古仙人。身光炎踊。能映餘光。使不現。故言光波。亦云飲光。迦葉身光亦能映物。名畢鉢羅。或畢鉢波羅延。或梯毘梨。畢鉢羅樹也。父母禱樹神。求得此子。以樹名之。跋耆子。生此聚落。人以為號。其家

◎顯二焦◎ ◎眼十(色)◎ ◎芽二牙◎ ◎蛆二疽◎ ◎如十(也)◎ ◎不分卷◎ ◎菩提二菩薩◎ ◎無二亦◎ ◎無十◎ ◎蘇十故◎ ◎本十太◎ ◎說十(也)◎ ◎葉十(者)◎

大富。增一阿含云。羅閱祇大富長者。名迦毘羅。婦名檀。那子名畢鉢羅。子婦名婆陀。其家千倍勝瓶沙王。十六大國無以爲隣。付法藏言。毘婆尸佛滅後。塔像金色缺壞。時有貧女。因得金珠。倩匠爲薄金師。歡喜治瑩佛畢。立誓爲夫婦。九十一劫。入中天上。身恒金色。心恒受樂。最後託摩竭提國尼拘律陀婆羅門家。生畏勝王。得罪。減一耕犁。但用九百九十九雙牛金。犁。又經云。其家有。髒。最下品者。直百千兩金。以釘釘入地。七尺。髒不穿破。如本不異。六十庫金粟。一庫容三百四十斛。庫倉。類也。又經云。以麥飯供養。支佛。恒越忉利各千反受樂。身有三十相。直論金色。剡浮那陀金。在濁水底。光徹水上。在閼闍。迦葉身光勝於此金。身光照。一由旬。闍二相。應是無白毫肉髻也。故諸天請結集時。讚言。耆年欲慧。慢已除。其形譬如紫金柱。上下端嚴。妙無比。目明清淨。如蓮花。捨此家業。又納金色婦。迭臥無欲。捨而出家。身披無價寶衣。截爲僧伽梨。四疊奉佛爲座。如是三捨世無倫匹。是爲捨大。於跋耆聚落。值佛奉寶衣。佛授糞掃大衣。此衣是大聖大衣。又不龜重。故迦葉云。我受佛衣。師想塔想。未曾頭枕。況以覆臥。如此大衣大進。我行故言受大。佛弟子中多名迦葉。如十力三迦葉等。皆是大人。於諸同名中最長。故標大迦葉也。於跋耆聚落。初從佛聞。增上戒定慧。即得無漏。受乞食法。行十二頭陀。逾老不捨。後時

佛語汝年高。可捨乞食。歸衆受食。可捨。龜重糞掃衣。受壞色居士輕衣。迦葉白佛。佛不出世。我當爲辟支佛。終身行頭陀。我不敢放所習。更學餘者。又爲當來世作明。未來世言上座迦葉爲佛所歎。我亦當學難行苦行。佛言善哉。是爲行大。增一阿含。佛法中行十二頭陀。難行苦行。大迦葉第一。頭陀既久。鬚髮長衣服弊。來詣佛所。諸比丘起。慢佛。命令就佛半座共坐。迦葉不肯。佛言。吾有四禪。禪定息心。從始至終。無有耗損。迦葉亦然。吾有大慈。仁覆一切。汝亦如此。體性亦慈。吾有大悲。濟度衆生。汝亦如是。吾有四神三昧。一無形二無量。意三清淨。積四不退轉。汝亦如是。吾有六通。汝亦如是。吾有四定。一禪定二智定三慧定四戒定。汝亦如是。增一阿含云。一婆羅門白佛。昨有婆羅門至我家。何者是。佛指迦葉。又問。此沙門非婆羅門。佛言。沙門法律。婆羅門法律。我皆知迦葉亦爾。迦葉功德與我不異。何故不坐。諸比丘聞。佛所讚。心驚毛豎。佛引本因緣。昔有聖王。號文陀竭。高才絕倫。天帝欽德。遣千馬車。造闕迎王。天帝出候。與王同坐。相娛樂。已送王還宮。昔迦葉以生死座。命吾同坐。吾今成佛。以正法座。報其往勳。對佛坐時。天人咸謂。佛師。又迦葉共阿難。爲比丘尼說法。有一比丘尼。不喜云。販針兒。在針師前賣針。迦葉語阿難言。此比丘尼。以汝爲針師。我爲販針兒。迦葉語尼言。佛說月喻經。日日增長。常如新

學者。唯大迦葉。汝聞不。於大衆中。分半座。汝聞不。於大衆中。讚同佛廣大功德。汝聞不。云何。此人是販針兒。如此等。是被佛印。可大也。位大者。於大衆中。爲大。於千二百五十中。爲大。於五百中。爲大。於四大弟子中。爲大。爲五山寺主。作閻浮提知事。上座。故言位大。佛燒身後。灰場生四鉢多羅樹。此表迦葉集三僧祇劫法。爲三藏四阿含。僧肇序云。宗極絕於稱謂。賢聖以之。冲默玄旨。非言不傳。釋迦以之。致教約身。口防之以禁律。明善惡則導之以契經。演幽微。辨之以法相。此即明戒定慧三藏也。增一明人天因果。長破邪見。中明深義。雜明禪定。皆大迦葉之功也。若別論集者。阿難誦出修多羅。優波離誦出毘尼。迦葉誦出阿毘曇。故言結集大也。如來去後。法付迦葉。能爲一切。而作依止。猶如如來。何者。若有頭陀苦行人。我法則存。若無此人。我法則不存。迦葉能荷負佛法。令得久住。至未來佛。付法授衣。竟然後入滅。故言持法大。而迦葉將隱密上。天禮佛髮。爲諸天說法云。爲善生天。爲惡入淵。五欲無常。如花上露。見陽則晞。於是別去。諸天泣歎曰。里巷窮酸。苦厄羸劣。貧窮孤露。彼恒於惑。今捨滅度。誰復護護云云。約教明。抖擻。抖擻。十二種過。謂好衣求時苦。得時多怖畏。失時生懊惱。糞掃衣無水火盜賊王難五怖。若多畜者。縫治浣負其勞。亦多故。但三衣。若僧中食。則營佐僧事故。乞食若受殘食小食。擾動喪時。故一

①那二耶 ②以二與 ③型十(也) ④髒一星 ⑤類一新 ⑥(辟)十支 ⑦大十(大) ⑧冲二冲 ⑨(則)十辨

坐食。多食難消。生睡懈怠。少食饑。縣乏。力故節量食。多器洗持多妨故一鉢食。須漿勞動故不飲漿。房舍生著故樹下。樹下又著故塚間。冢間憂悲妨故露地。若臥消功增。懶故常坐。二是衣法。六是食法。四是住處法。且約乞食明抖擻者。乞易得生喜。難得生瞋。得好則愛得。惡則愛。愛喜依色而起。即色陰。受此愛喜。即受陰。取愛喜相。即想陰。愛喜即是行陰。分別愛喜。即識陰。愛喜即意法。二入三界。界入陰。即苦諦。我能乞食。計有我無我。以乞爲道。以乞爲實。如是諦當。歡喜毀瞋。我能被呵。即疑不了。爲癡。是爲十使。歷三界四諦。即八十八使名集諦。若識乞食中四倒相似相續。覆故謂常。適意謂樂。動轉所作覆故謂我。薄皮覆故謂淨。識四覆。無四倒。勤遮二惡。生二善。修四定。根力覺道。是爲道諦。於乞食中。不計我則癡滅。癡滅故愛滅。愛滅故瞋滅。瞋滅故不自舉。則慢滅。慢滅故被呵則無疑。無我故我見滅。我見滅故邊見滅。不執是道。則戒取滅。不計爲實。故見取滅。不邪執故邪見滅。此十滅故則八十。八滅。八十。八滅。故子縛滅。子縛滅。故果縛滅。果縛滅。故二十五有滅。是爲滅諦。若於乞食中。不見四真諦。是故久流轉生死大苦海。若能見四諦。則得斷生死。生死既盡。已更不受。諸有是爲乞食中抖擻觀慧。衣法住處法亦復如是。是三藏頭陀也。通教抖擻者。緣真證寂。則是住處空慧爲食。空心行諸行爲衣。常

性空。無不性空時。空慧抖擻。皆如幻化。妄想諸惡寂滅不起。心心數法不行。故以不可得。故諸相應中空。相應最爲第一。諸苦行中空行第一。諸抖擻中。空慧抖擻最爲第一。略說竟別教抖擻者。依於法身。以爲住處。般若智慧以爲食。一切諸行莊嚴遮覆。遮覆抖擻黑業之惡。般若抖擻煩惱之惡。法身抖擻生死苦惡。前抖擻分段煩惱業苦。次抖擻變易煩惱業苦。是爲中道正觀頭陀。出過二乘所行苦行。云云。圓教抖擻者。住處即衣。即食。但是一法分別說三。一抖擻一切抖擻。一切抖擻。一抖擻。非一非一切。於一切抖擻。無非實相。諸佛所行是如來行。過諸菩薩所行清淨。云云。本述者。本與如來同坐。畢竟空理。同得廣大法身。同得無礙智慧。同得無量功德。內捨法愛。外無垢染。內外抖擻。本已清淨。欲引乳味。事中抖擻。次引酪味。空中抖擻。次引生蘇。別中抖擻。次引熟蘇。圓中抖擻。觀心者。即空抖擻。取相即假抖擻。塵沙。即中抖擻。無明。一心抖擻。撒五住。云云。三迦葉。迦葉如前釋。優樓頻伽。亦優樓毘。亦優樓。此翻木瓜。林。那提。此翻河。亦江伽耶。亦竭夷。亦象。此翻城家在王舍城南七由旬。毘婆尸佛時共。樹剎柱。緣是爲兄弟。兄爲瓶沙王師。五百弟子。兩弟各二百五十。行兄法。佛作十種變。謂龍毒不中。龍火不燒。恒水不溺。三方取果。北取。梗糧。切。利甘露。知嫌隱去。知念現來。火滅不然。斧舉不下。廣出瑞應。雖衆衆變

邪執未改。故言瞿曇。雖神不如我道真。佛即語云。汝非羅漢。亦不得道。霍然開悟。師徒皆伏。二弟見相亦隨歸。佛。是則一千比丘。約教者。如增一阿含云。優留毘。能將護四衆。供給四事。令無所乏。最爲第一。那提比丘。心意寂然。降伏諸結。精進最第一。伽耶比丘。觀了諸法。都無所著。善能教化。爲最第一。是爲略教中意。若轉入生蘇。即應耻小慕大。例則可知。若轉入熟蘇。即應委業。領教。若轉入醍醐。如此經中得記作佛也。本述者。住於三德。林。即般若。城。即法身。水。即解脫。是爲祕密本藏。而迹依林。城。水。以度衆生也。觀心者。正觀心性。中道不動。如城防敵不動而動。如水淨諸邊顛倒。雙照枯榮。如林翳鬱。三法相資。即是連枝兄弟也。舍利弗具存。應言舍利弗羅。此翻身子。又翻舍利爲珠。其母於女人中聰明。聰明相在眼珠。珠之所生。故是珠子。又翻身。此女好形身。身之所生。故言身子。時人以子顯母。爲作此號也。父爲作名。名優波提舍。或優波替。此翻論義。論義得妻。因論名。子標父德也。釋論云。我名提舍。遂我作字。字優波。提舍。優波。此言。遂。提舍者。星名也。又舍標。父利標。母。雙顯父母。故言舍利弗。弗子也。姓拘栗陀婆羅門種。增一云。我佛法中。智慧無窮。決了諸疑者。舍利弗第一。昔者生經云。過去舅甥俱爲織師。知王寶藏。因穿土盜之大獲珍寶。寶監白王。王云。勿揚彼盜尋來伺而執之。甥因令舅倒入被

①顯二惡 ②懶二懶 ③八十(使) ④(滅)一 ⑤林二瓜果 ⑥樹二堅 ⑦行十(於) ⑧利十(取) ⑨[此]一 ⑩[提]一 ⑪(本)十生

執甥恐人識即殺舅頭王令以屍置四交道引取其親後因賈客群集獵開甥載兩車薪覆之王又伺取又因童兒舞戲投火燒之又行置酒伺者大醉酒瓶盛骨而去王憂狡猾出女嚴防在水邊先誠其女來者執喚其浮珠於水防者謂人視之乃珠連日不備因是得來通女女執其衣其即授死人手而去女大喚視之乃死手耳因是有身生男端正王令乳母抱出有鳴者執之連日飢渴至煮餅爐下餅師與餅而鳴王更令出因酷醇酒伺人大醉抱兒而去出過他國他國賢其謀以大臣女妻之不用因字之爲兒聘本國王女許之疑是前盜其人以五百騎鞍馬衣服一種相似往迎婦時本王見之問是前盜歎其姦詐以女婦之甥者舍利弗是舅者調達是云云胎者父名優波提舍學通典籍鐵鏢其腹頭戴火冠獨步王舍打論議鼓國師陀羅自知陳故策則相不祥義屈辱封以女妻之妻夢見人身被甲冑手執金剛杵碎一切山後立一山邊夢覺體重以問其夫夫云汝所懷者破一切論師唯不勝一人當爲弟子舅名拘絺羅論當勝姊既懷智人論則勝弟弟自念言此非姊力必懷智人寄辭母口在胎尚爾何況出生耶委家更廣遊學不暇剪爪時人呼爲長爪梵志云云難陀跋難陀二龍護王舍城雨澤以時國無饑年王及臣民歲設大會置三高座王太子論師身子以八歲之年身到會所

問入三座人具答之即越衆登論床群儒皆耻不肯論議勝此小兒無足顯譽脫其不如屈辱大矣皆遣侍者傳語問之答過問表盡墮諸幢無敢當者王及臣民稱慶無極國將太平智人出世及年十六究盡閣浮典籍無事不閑博古覽今演暢幽奧十六大國論議無雙五天竺地最爲第一師事沙然梵志梵志道術身子皆得師有二百五十弟子悉附身子而成就之沙然臨死欣然而笑身子問故答世俗無眼爲恩愛所親我見金地國王死夫人投火聚願同生一處言已命終後見金地商人問之果然身子追悔我未盡師術而不授此法爲我非其人師祕乎自知未達更求勝法而無師可事雖不達此一法餘法皆通於外道衆中最爲第一於道見頌威儀庠序因問師法頌願答云諸法從緣生是故說因緣是法緣及盡我師如是說一聞即得須陀洹果來至佛所七日遍達佛法淵海又云十五日後得阿羅漢爲羅云和尚憍梵作師聲聞衆中右面弟子調達破僧引五百比丘去身子往化五百人歸云云勞度差拘力度差爲花池身子爲象拔花鬪池度差爲夜叉鬼身子爲毘沙門王種種皆勝度差降伏中阿含云身子是四衆所生母目連是所養母云云中阿含第二云生處安居比丘稱歎滿慈子少欲知足精進閑居一心正念智慧無漏勸發亦稱說此等法時身子聞念我何時得見此人此人何

時到佛所他示云白哲隆鼻鸚鵡嘴者是其形相後於安陀林此云勝林相見身子問賢者於瞿曇所修梵行耶答如是又問爲戒淨修梵行耶答不也爲心淨見淨度疑淨知道非道淨道迹知見淨道迹智斷淨也此義云何答爲無餘涅槃故修梵行又問以戒淨故設無餘涅槃答不也乃至道迹智斷淨故設無餘涅槃答不也又問此義云何答若以戒淨設無餘者此以有餘稱無餘乃至道迹智斷淨設無餘者亦是稱無餘若離此七者凡夫人當般涅槃凡夫離七故以不離故從戒淨至心淨乃至道迹智斷淨仁者聽我說喻如波斯匿王欲從拘薩羅至婆羅帝中間布七車捨初乘二乃至捨六乘七婆羅帝人問爲乘初車答不也乃至乘第七車答不也問離此七車答不也此喻問可知身子問賢名何等梵行人云何稱汝答我父名滿我母名慈梵行人稱我爲滿慈子身子稱嗟善哉賢者滿慈子爲如來弟子智辯聰明決定安隱無畏遠大辯才得甘露幢於甘露自作證值汝者得大饒益諸梵行人應繫衣頂戴滿慈子問賢者何名梵行人云何稱答我父字優波提舍我母名舍利故稱我爲舍利子滿慈子嗟曰今與世尊等弟子共論而不知與第二世尊共論而不知與法將共論而不知與轉法輪復轉弟子共論而不知若我知尊者不能答一句況

①實二價②皆十皆③淨十提④答十言⑤終二絕⑥爲十師⑦法一⑧通十達⑨來一⑩何一
⑪知二如⑫知一⑬不⑭聽二能⑮聽一⑯七十喻⑰繞二利⑱舍利十弗